



たのしい白岩小

郡山市立白岩小学校だより

令和4年度 第34号
 令和5年3月23日(木)
 文責：校長 佐藤 一彦



「表現する子ども」「協力し合う子ども」をめざし、活動します！

携帯サイトも
 どうぞ！→

子どもたち、がんばりました！



3月15日(水)、今年度最後の表彰を行いました。今年も1年、子どもたちはさまざまな分野で頑張りました。

- 第34回読書感想画福島県コンクール(1月17日)
 - ・優秀賞 6年
 - ・学校賞 郡山市立白岩小学校
- 第53回郡山市小・中学校書きぞめ展(1月18日)
 - ・奨励賞 6年 5年 4年 3年
- 第67回福島県書きぞめ展(1月29日)
 - ・特選 5年 4年 3年
- 第56回「ぼくらのひろば」(2月4日)
 - ・佳作 3年 3年
- 令和4年度明るいまちづくり推進運動標語・川柳コンクール(2月13日)
 - ・小中学生の部 佳作 6年 5年 5年 5年
- よい歯と口の表彰(3月15日)
 - ・治療してきたきれいな歯で賞 5年 4年
- 多読賞
 - ・ページ数の部 6年
 - ・冊数の部 2年



～卒業証書授与式の式辞では子どもたちに以下のような話をしました～

ご卒業おめでとうございます。あなたは、今年度、白岩小学校のただ一人の6年生として、勉強、スポーツ、行事、委員会活動などすべてにおいて中心となって大活躍し、白岩小学校を良い方向に導いてくれました。

朝、登校班の班長として周囲にこだまするくらいの元気なあいさつで一日をスタートさせ、忙しい中でも委員会活動を率先してこなし、学習に対しても意欲を持って取り組みました。行事においても運動会での全力疾走、白岩フェスティバルでの素晴らしいダンス。修学旅行では計画通り進めようとiPadでタイマーを利用しながら班別行動を仕切っていましたね。また、白岩小学校のSDGsを前進させ、その内容を郡山市の少年の主張で発表しました。絵も上手で、4年生、5年生、6年生と三年連続で福島県読書感想画コンクールで優秀賞を受賞しました。このようにあなたの大活躍は語り尽くすことができません。中学校でもさらに飛躍すること間違いのないと思っています。

さて、卒業生にはなむけの言葉を贈ります。それは「継続は力なり」という言葉です。この言葉は、続けていくことの大切さを表しています。長い人生を歩んでいれば誰でも途中で諦めてしまいたくなることもあると思います。しかし、そんな弱い自分に負けずに努力を続けていくことで、努力の積み重ねが自分の力になり、いずれは目標を達成できるということを意味しています。過日、卒業生の将来の夢についてのプレゼンを聞かせてもらいました。その夢に向かって現在努力をしているということでした。素晴らしい夢です。必ず達成させてほしいと思います。そのためにも夢を叶えたいという強い気持ちを忘れず、努力を継続することにこだわり、夢に近づいてください。楽しみにしています。



令和4年度。大変お世話になりました。「たのしい白岩小」を基本に「やさしい子ども」「かしこい子ども」「げんきな子ども」「やりぬく子ども」の教育目標実現に向け、がんばってまいりました。1年前と比べ、子どもたちは心身ともに大きく成長できたと感じています。ご家庭、地域の皆様には白岩小の教育に対してご理解、ご協力いただき本当にありがとうございました。